

「芽でるネット」は女性の社会的・経済的自立を段階的に支援するための  
起業・就労活動を応援する専用ルームです。

起業相談・就労相談

起業や就労に向けた相談ができます。

予約制・無料



パソコン貸出

芽でるネットのノートパソコン  
をルーム内で利用。

予約制・1回100円



パソコン個人サポート

起業や就労に向けた初級程度の  
パソコン技能の個人サポートを  
行なっています。

予約制・1回300円  
年3回まで利用可



出店体験スペース貸し

起業支援ルームのスペース  
を使って出店の体験をして  
みませんか？

予約制・無料  
月4回まで利用可



コワーキングスペース

パソコン作業や勉強・ミーティング  
などで利用できます。  
フリーWi-Fiあり。

予約制・無料



図書の閲覧・貸出

起業や就職に関する本やSNS・  
パソコンスキルを磨くための本  
があります。どなたでもご利用  
できます。

1人3冊・2週間まで貸出可能



もりおか女性センター

ニュースレター

News Letter

No.116  
2026.7

事業紹介

女性起業 芽でる塾

起業に向けた『はじめの一歩』を踏み出してみませんか？起業の  
基礎知識や心得を学ぶセミナーです。

日時・場所

プラザおでって 館内  
公開講座:10/4(日)10:00~12:30  
連続講座:  
第1回 :10/18(日)10:00~13:00  
第2回 :10/25(日)10:00~13:00  
第3回 :11/8(日)10:00~13:00  
第4回 :12/6(日)10:00~15:00

受講料・定員

公開講座:1,000円/30人  
連続講座:1,500円/20人  
公開講座では、先輩女性起業家の講演会&ランチ交  
流会！連続講座の最終回には受講生による出店体験  
も開催します♪  
★詳細は芽でるネットのInstagramをご覧ください



昨年度の連続講座の様子

起業支援ルーム 芽でるネット

開室時間

月曜日~金曜日  
10:00~12:00/14:00~17:00

休室日

土日祝、毎月第2火曜日、年末年始  
場所:プラザおでって1階  
電話:019-604-3303

詳細や最新情報は  
Instagramを  
チェック！



相談

受付電話 019-604-3304 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

相談開設時間 月・火・金 10:00~17:00 水・木 10:00~20:00

●女性相談

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。電話相談と面接相談があります(予約の方優先)。また、ホームページの相談フォームからメール相談も受け付けます。

●男性相談

男性の相談員による電話、もしくは面接相談。予約が必要です。原則毎月第2土曜日に実施予定。場所などの詳細はホームページでご確認ください。

●LGBT相談

電話相談のみ。予約が必要です。

女性限定 無料

お気軽に  
お立ち寄りください

ウィメンズサロン・ゆるり

気軽におしゃべりしたい方も静かに自分の時間を過ごしたい方も  
すこしだけ日常から離れて落ち着ける場所

原則 毎月第4水曜日 17:00~19:00

プラザおでって1階 起業支援ルーム 芽でるネット

詳細はHPを  
ご覧ください



発行日:令和8年7月1日

発行:もりおか女性センター

(指定管理者:特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階

電話番号 (019)604-3303 FAX (019)601-4031

開館時間 月曜日~金曜日 9:00~21:30(土日祝17:00まで)

休館日 毎月第2火曜日、年末年始

最新の情報は  
ホームページから



X

Instagram

アンケートのご協力  
をお願いします！

最後まで読んでいただき、  
ありがとうございました！



みなさんの声を  
ぜひお聞かせください



# 講演会

## 盛岡から始めるジェンダー平等

～地方あるある、「おじさん社会」と言われる背景とは～

毎年6月23日から29日は「男女共同参画週間」です。この期間は、平成11年(1999年)6月23日に公布・施行された“男女共同参画社会基本法”を踏まえ定められました。もりおか女性センターでは毎年、この期間にあわせて、地域における男女共同参画の推進を目的に、講演会や展示、DVD上映会などを開催しています。今年度は6月7日(日)に、前川直哉さんを講師にお迎えし、講演会を開催しました。



福島大学 教育推進機構 准教授 前川直哉さん

2024年のNHK連続テレビ小説『虎に翼』のジェンダー・セクシュアリティ考証を担当  
1977年、兵庫県尼崎市生まれ。京都大学博士(人間・環境学)。灘中・高教諭を経て2014年に福島市に転居。2018年より福島大学教員。

### 「個人的なことは政治的なこと」 (注記)第二波フェミニズムのスローガン

家事や育児は「それぞれの家庭のこと」と考えられがちですが、その背景には、社会全体を支える構造的な課題が根底にあります。女性にとって結婚や出産が家事・育児負担につながっている現状に触れながら、女性活躍を求めるだけでなく、男性が家事や育児、介護に参加し、ケアの負担が特定の人に偏ることのない社会の必要性について語られました。

### 「多様な人が参画し、支え合う社会へ」

「男性ばかりの会議」が社会の縮図となりがちです。年齢や性別、障がいのある人などに関わらず、多様な人が意思決定の場に参加することが大切です。また、地方からの若年女性の流出や少子化の問題を、女性だけに焦点を当てるのではなく、様々な立場の人々から意見を取り入れながら、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めることが大切であることが共有されました。

## 講演終了後のミニイベント

講演を聴いて感じたことや日頃のモヤモヤを、参加者がスマートフォンから投稿し、会場で共有しました。寄せられた声をスクリーンに映し出しながら、講師の前川さんとともに感想や想いを分かち合いました。

### 参加者

性別、国籍、年齢、障害、学歴、容姿……全ての差別が無くなる日が来るのでしょうか？

※原文のまま掲載



### 前川さん

全てなくなるわけではないが、無くそうとすることで良くなりました。自分たちがしたい仕事や、学びたいことができているのは、民主的な国を作ってきた先輩たちのお陰で今があります。江戸時代と私たちの時代は、全然違う自由な選択がある。そういった意味で、差別は無くなってきました。これからも社会は変えていけます。私自身、高校生だったころと現代では明らかに違います。変わっているし良くなっています。全部なくすのではなく、少しずつ良くなっていく。そこに私は期待を持ちたいと思っています。

### 参加者

「女の子なんだから〇〇」と言われたときにもやっとするのですが、言い返せず飲み込んでしまう。何か良い対策はないですか？

※原文のまま掲載

### 前川さん

相手や言われた内容によると思います。外に貼ってある、掲示物の“あなたのはて？を教えてください”に「女性は主語が大きい」と書いてありました。大体もやっと感じるときは主語が大きいです。エビデンスのない話、いわゆるカテゴリートークは誰でも嫌がる傾向にあります。例えば、勝手に「女は、男は」と言われて馬鹿にされたり、生き方を狭められるのはおかしいですね。自他ともに、主語が大きくなりたくないよう気を付けていきましょう。

前川さんの著書が図書コーナーにあります！

### 『基礎ゼミ ジェンダースタディーズ』

守如子/前川直哉 編集//世界思想社/2025年



女性はメイクをすべき？  
スポーツは男性向き？  
災害の被害は平等？  
LGBTは私のまわりにいない？  
女性専用車両は「男性差別」？  
ジェンダー研究の基本から最新線まで貫く究極の入門書です！

## 参加型 シール投票

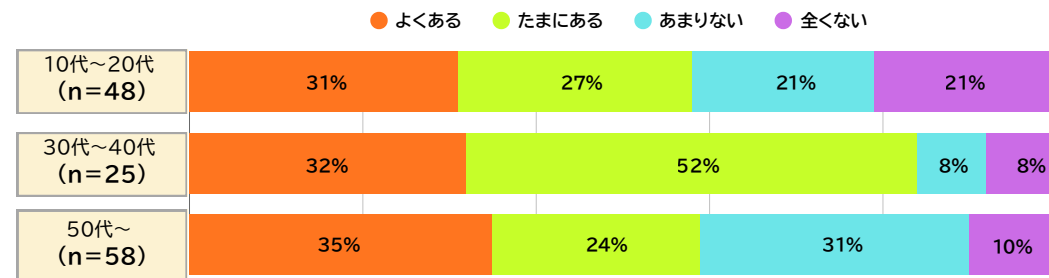
日常の中で感じる違和感やモヤっとする気持ちを、シール投票を通し見える化にすることで、ジェンダーや地域での暮らしについて、感じている違和感を自分ごととして考えるきっかけづくりを目指しました。

131人のご参加  
ありがとうございました！

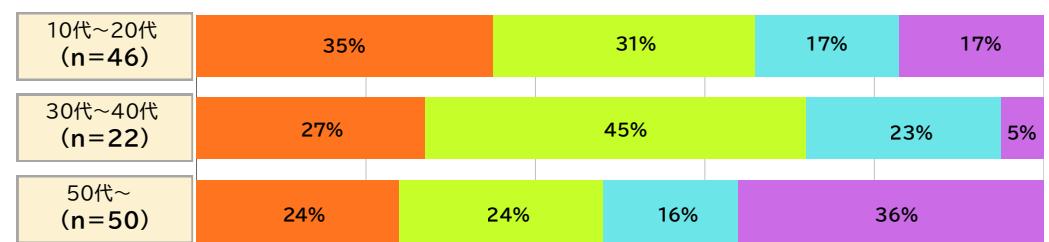


(6/10時点の人数)

### ①『男だから』『女だから』と言われたことはありますか？



### ②生きづらさを感じたことや、岩手を出たいと感じたことはありますか？



①では、経験有と回答された方がどの世代でも半数以上でした。性別による役割や期待は、今も身近なところに残っているようです。

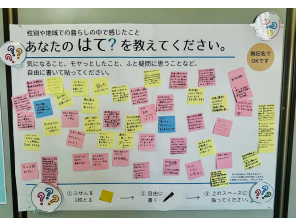
②では、10～20代で「よくある」と答えた人が最も多く、若い世代ほど生きづらさを感じている傾向が見られました。

## 事業を終えて

もりおか展2026では、参加者からさまざまなモヤモヤや日常で感じる違和感の声寄せられました。ここで一部をご紹介します。

- 結婚・出産をするという前提で「子どもは何人ほしいか」など聞かれたことがある。女性だからと言って必ず出産願望があると思わないでほしい。
- 長男は墓を守らなければならない。
- 野菜をもらったとき、「頑張っている旦那さんに食べさせてあげて」と言われ、私は見えていかな。と透明人間になった気分になった。
- 「女の子なんだから家事を手伝いなさい」「男の子なんだから泣くんじゃない」など身近でも聞こえてくる。

※原文のまま掲載



こうした日常の中にあるモヤモヤや違和感を参加者同士で共有することで、多くの学びや気づきを得る機会となりました。講師の前川さんが話していた「多様な人が参画し、支え合う社会へ」という言葉のとおり、多様性を尊重し、一人ひとりが能力や個性を発揮できる男女共同参画社会の形成。そして、ジェンダー平等社会の実現に向け、今後も取り組みを進めていきましょう。

## 施設利用団体の声 Compass コンパス

もりおか女性センターでは、施設利用や市民団体支援事業を通して、さまざまな市民活動が行われています。今回は、昨年度「市民団体支援事業」を活用いただいた「Compass」さんより、活動や施設利用について聞いてみました♪ご協力いただきありがとうございました！



生活アトリエでの活動の様子

日ごろから、もりおか女性センターを楽しく・便利に利用させていただいています。無料で使える生活アトリエの使いやすさと、女性関連書籍の充実した蔵書はまさにナンバーワン！ぜひ多くの市民や団体みなさんにも活用していただきたいです。

昨年度は初めて市民団体支援事業を利用しました。以前から問題意識を持っていた「離婚後共同親権」について、法改正後のタイミングで改めて取り上げることができました。講師の方にわかりやすく解説していただいたおかげで、参加者のみなさんにも法改正のメリット・デメリット、そして大切にすべきことが伝わったと感じています。

女性センターのスタッフのみなさんは、声をかければ何でも丁寧に対応してくださいます。施設の利用方法から事業の相談まで、気軽に話しかけてみてください。活動をさらに発展させるためのアドバイスがきっと得られると思いますよ！これからも女性センターをどんどん活用して、盛岡市の人権意識を高めていきたいと思っています。

Compassさんのコメントにも登場した「生活アトリエ」と「図書コーナー」。もりおか女性センターでは、男女共同参画実現のための、情報・市民活動の場の提供を行っています！施設に関する詳細はこちらをご覧ください♪

